

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年10月17日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから10月17日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

原子力規制委員会の広報日程について御説明いたします。

明日18日水曜日は、第38回原子力規制委員会が開催されます。

議題は3つございまして、まず1つ目の議題は、原子力災害対策指針及び関係規則等の改正案に対する意見公募の結果となっております。

8月2日に第25回原子力規制委員会の定例会で、原子力災害対策指針の改正案を了承していただいております。その案について9月3日まで意見公募を実施しております。今回、その結果を報告するとともに改正案の決定を図る予定となっております。なので、これは意見公募の結果という議題となっておりますが、大きな議題は、指針の改正案の決定の審議ということになります。

今回の改正の内容は、例えば指針について、特定重大事故対処設備による炉心損傷防止対策をEAL（緊急時活動レベル）の判断基準に取り込むというものでございまして、例えば、従来は原子炉制御室が使用できなくなった場合に、原子炉の停止の機能が失われたと判断して全面緊急事態という判断をしてきたところではございますが、原子炉制御室に加えて緊急時制御室もできなくなったと。そういう場合に全面緊急事態の判断を行うようにするといったような形で、そうした新しい安全機能のEALの判断基準への取込みを行うという変更を行う内容となっております。

今回の案については7件の意見を提出いただいております。その回答についても御説明をするという予定になっております。

議題の2は、第61回技術情報検討会の結果概要です。

第61回技術情報検討会は、9月28日に開催しております。そこでは3件の自然ハザードに関するスクリーニングの状況の報告、その結果、大規模噴火を起こす可能性のある火山について、マグマに含まれる化学物質の分析から、大規模噴火を起こすものかどうかという判断をするという新知見について、今後、研究対象にしていくということについて報告がされております。

また、アメリカの原子力発電所で発生いたしました炉心槽の亀裂についての情報収集と事業者の受け止めも報告されておりまして、その際の議論で、維持規格の技術評価を見据えて、今後、情報収集をしていくということとなっております。そうした議論の状況が定例会で紹介されます。

また、大飯の発電所3号炉のステンレス鋼配管の粒界割れに関する事業者の調査の状況についても報告がされておりまして、ここでは引き続き事業者の検討内容を聴取するということとか、亀裂の進展評価についてNRC（アメリカ合衆国原子力規制委員会）と意見交換を行うというような議論となっておりますので、その議論が紹介されます。

議題の3は、令和5年度第2四半期における専決処理でございまして、これは7月から9月までの長官専決の状況について御報告を行うものでございます。

そのほかの案件ですけれども、10月23日、5番目の案件ですが、第502回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合が開催されます。対応は杉山委員です。

議題の1は、京都大学複合原子力科学研究所原子炉施設保安規定変更承認申請についてでございます。

この保安規定については、記載される長期施設管理方針の変更について申請がされております。前回は9月21日に会合が行われておりまして、そこで指摘された事項について、10月23日に事業者から説明があるという予定となっております。

議題の2は、常陽の保安規定の変更認可申請についてです。

常陽は1977年に運転を開始しておりまして、今回の会合では、来年予定されている長期施設管理方針の策定に向けて、保安規定の変更をどんな形で検討していくかというスケジュールについて事業者から説明がございます。また、ルースパーツの調査状況と今後の対応についても議論が行われるということが予定されております。

最後に、委員の現地視察です。

杉山委員が、10月24日に量子科学技術研究開発機構の放射線医学研究所を視察されます。

今後、総合防災訓練も予定されておりますが、原子力災害発生時のオンサイトの判断とオフサイトの対応の連携の検討の参考にするとといったような趣旨で、緊急被ばく医療施設を視察されます。また、研究所で行われている被ばく医療の人材育成の状況についても説明を受けることが予定されております。研究所では、医療関係者12名の人材育成が行われているほか、基幹高度被ばく医療支援センターとして研修を行うなどの事業が行われております。

本日の案件は以上でございます。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属と名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—